

-臨床研究に関する情報及び臨床研究に対する協力のお願ひ-

現在東京女子医科大学附属足立医療センター周産期新生児診療部では、本学で保管している診療後の診療情報等を使って、下記の研究課題を実施しています。

この研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の研究内容の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。なお、この研究課題の研究対象者に該当すると思われる方やご家族の中で、ご自身の診療情報等を「この研究課題に対しては利用・提供して欲しくない」と思われた場合にも、下欄の研究内容の問い合わせ担当者までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

[研究課題名] 在胎 34 週以降の出生児における二次性呼吸窮迫症候群の検討

[研究対象者] 2013 年 1 月～2024 年 3 月までの間に、当院で在胎 34 週以降で産まれた新生児呼吸窮迫症候群と診断された患者様、及びそのお母様

[利用している診療情報等の項目]

診療情報等：診断名、年齢、性別、入院日、家族歴、病歴、検査結果(SpO₂ モニタリング、血液、画像、生理検査など)、治療内容、臨床経過、等

[利用の目的] (遺伝子解析研究：無)

呼吸窮迫症候群は新生児では頻度の高い疾患ですが、二次性呼吸窮迫症候群は診断に時間がかかることがあり、治療に難渋することもあります。この研究では一次性の呼吸窮迫症候群と二次性呼吸窮迫症候群の治療法や臨床経過を比較することで、二次性呼吸窮迫症候群の特徴を検討します。これらにより、どの程度治療を要するのか、どのようなことに注意して治療にあたれば良いのかを予測して対応できるようになる可能性があります。

[研究機関] 倫理審査委員会承認後より 2027 年 3 月 31 日までの間(予定)

[この研究での診療情報の取り扱い]

本学倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした診療情報等には氏名、生年月日等の情報を削り、個人が特定されることのないように加工をしたうえで取り扱っています。

[機関長、研究責任者、および、研究内容の問い合わせ担当者]

機関長：東京女子医科大学 理事長 岩本絹子

研究責任者：

東京女子医科大学附属足立医療センター周産期新生児診療部 准教授 山田洋輔

研究内容の問い合わせ担当者：

東京女子医科大学附属足立医療センター周産期診療部 助教 住川拓哉
電話：03-3857-0111(対応可能時間：平日 9 時～16 時)